



調理専用

広報

おおくわ

2021.

3

● 令和3年度所信表明 2~6 P

No.557



所信表明

令和3年度の大桑村一般会計並びに各特別会計予算の審議をお願いするにあたり、その所信の一端を申し上げます。

予算の概要

昨年1月、日本においても感染が確認された新型コロナウイルスは、1年以上経過しても依然として全世界でその猛威をふるい続けており、住民生活や経済活動などすべての面において、コロナ以前の状況を取り戻す見通しを立てるには困難な状況が続いています。ようやく、国内でもワクチン接種が始まったところで、市民を対象とした接種については、国・県をはじめ関係機関との連携を取りながら早期の接種開始に鋭意取り組んでまいります。

我が国の経済情勢は新型コロナウイルス感染症により多大な影響を受けており、緩やかな回復が続くとされた見直しも見直しを余儀なくされています。

なくされています。

そのような中でも政府は令和3年度地方財政計画で、地方税の減収を見込む中、

地方財政の負担を軽減させるため、地方交付税の前年度比0・9%増、金額にして1396億円に加えて臨時財政対策債の発行を4年ぶりに増加し、総額106・6兆円の一般会計予算案を計上しました。

村内の状況を見ますと、自動車関連企業は持ち直しもみられますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、地場産業や飲食業など厳しい状況が続いている業種もあり、感染症の終息が見通せない中、過疎化の進行とあいまって依然として低迷が続いています。村の財政状況は、令和元年度の決算では財政の健全化を示す指標である実質公債費比率は、ここ数年の大型事業の実施により10・6%、前年度比0・7%の増となっています。



令和3年度は、本村の村づくりの基本方向を示す「第5次大桑村総合計画」後期基本計画に基づく事業展開を図り、加えて地方創生大桑村総合戦略を継続し行財政改革の実行を基本方針として課題解決を図ります。

特に、新型コロナウイルス感染症対策に関しては一刻も早い終息を図るため、国が進めるワクチン接種を迅速かつ確実に実施するとともに、村内経済の活性化、村民および村内企業の支援のため、村と商工会が連携し、プレミアム付商品券の発行を行います。

近年、特に顕著になっているあらゆる災害からの安全確保を重視した環境づくり、深刻化する少子高齢化に対応した健康長寿と予防を重視した健康づくり、村全体で

子育てを応援する体制の充実・強化、若者の定住促進、将来を見据えて利便性ある快適な生活基盤整備などを推進し活力ある村づくりと、住民が自信と誇りを持って生活できる村づくりを重点に質の向上を図り予算編成を行いました。

一般会計

一般会計は、総額が49億6500万円となり、前年度当初予算対比で8億2000万円の増額、率にして19・8%の増となります。

経済動向に左右される要素が大きい村税は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、景気は依然として厳しい状況であり、村民税は村内企業の動向と令和2年度の実績を考慮し減収を見込みました。軽自動車税、たばこ税・入湯税は若干の増収となるものの、固定資産税は減収となり、村税総額では前年度に比べ1521万1千円の減収を見込み、5億6797万5千円を計上しました。

歳入の根幹をなす地方交付税は令和2年度の歳入実績を考慮し、14億8313万1千円、前年度比3・1%の減額と

なりませんが、臨時財政対策債1億1660万円と合わせた総額は15億9973万1千円で、590万8千円の増額となりました。国庫補助金は、土木費で道路防災事業の継続、農林水産業費で林道橋梁改修事業に着手しますが、大桑橋架設事業の終了により、前年度比65・0%減の1億7496万7千円を計上しました。村債は、新庁舎建設と関連事業および林道橋梁改修など過疎対策事業債、公共施設等適正管理推進事業債、防災対策事業債など、それぞれに適合した起債を充て、臨時財政対策債と合わせ前年度比90・8%増の14億9350万円を計上しました。

健やかな笑顔あふれる やさしい村づくり

過疎化、少子高齢化による人口減少が進む中、安心して子育てができる環境の充実を目指します。妊娠から出産、産後までの妊婦健康診査に助成し出産の負担軽減を図るとともに、乳児健康診査についても助成を継続します。望みながら子どもが授からない人たちへの不妊・不育治療費補助は村単

独で引き続き取り組みます。また、妊娠から出産後1年までの妊産婦にかかる医療費について無料化を継続し負担の軽減を図り、出産後に家族などの支援が受けられない場合に、病院で産後のサポートが受けられる産後ケア事業を継続します。

出生数はここ数年横這いで推移していますが、結婚・出産・子育て・就労など、子育て世代の環境は様々で、要望も多様化しており課題も多い中、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うため「子育て世代包括支援センター」を設置し、妊産婦および乳幼児の実情を把握し、各種の相談に応じるとともに、関係機関との連絡調整を図り、それぞれのケースに応じたきめ細やかな支援を進めます。

また、利用者が増加傾向にある子育て支援業務を子育て世代包括支援センター業務の中を含め、多様化する子育てに対するニーズに対応させ、子育て講座や子育てに関する保護者の相談窓口を常時開設するなど、気軽に立ち寄れる場所として利用の充実を図ります。また、保護者や同居の親族が病気

等で育児が一時的に困難になった場合の子育て支援ショートステイ事業など、子育て支援体制を強化します。



安心して子どもを預けられる保育施設の充実を図り、3歳児以上の保育料無償化と合わせ、新たに未満児の保育料を無償化し、給食費の無料化と併せ、さらなる負担軽減を図り、保護者の就労機会の増加に伴う未満児保育に対応します。引き続き、出産時と小・中学校の入学時に支給する、すこやか子育て応援祝金は実施し、子育て世代の定住促進を図ります。

乳幼児期から本に親しみ、中学生には今後の人生を歩むうえで礎

となる本を贈るブックスタート、セカンドブック、サードブックに、アップ・10・ブックを追加します。また、木育を推進するウッドスタート事業では、森林環境譲与税を活用し、木育に対する理解を深めるための講演会を開催します。

当村の高齢化率は42%を超え、医療費は依然として高水準で推移し、生活習慣病保有率も高い数値を示しています。食生活の改善、ゴールデンシニア運動、健康講座や健康づくり実践事業を継続するなど予防活動を推進します。健康な体を兼ね備えた長寿を目指し、病気の早期発見・早期治療を目標に基本健康診査、人間ドック、各種がん検診を充実するとともに新たに歯科検診の助成を行い、さらに女性特有のがん検診の無料化を継続し受診率の向上を目指します。

また、新生児を対象としたロタウイルスワクチン、麻しん・風しん、日本脳炎、ヒブワクチンおよび小児用肺炎球菌ワクチンなどの定期予防接種の実施、おたふくかぜワクチン、毎年流行するインフルエンザ予防のため乳幼児から高校生までのワクチン接種の全額助成、高齢者のインフルエンザワク

チンおよび肺炎球菌ワクチンへの助成を継続します。一般の風しん予防接種については、抗体保有率が低い年代の男性を対象に、検査および予防接種を継続し全額助成します。

速い速度で高齢化が進む中、認知症対策として「認知症の人やさしい村づくり宣言」に基づき、認知症予防講演会を開催するとともに、初期段階からの相談体制および見守りネットワーク体制の充実を図ります。特に、徘徊中の事故による損害賠償請求に対応する保険への加入を継続し、誰もが住みやすい地域づくりを目指します。また、高齢等による運転免許証の自主返納支援として、引き続き村の公共交通回数券を交付します。

デイサービスセンターでは利用者の利便性の向上を図るための計画的な施設整備を実施します。また、新型コロナウイルス感染症の状況を確認しつつ、社会福祉協議会、村内のNPO団体、ボランティア団体と連携し、介護予防教室、健康教室、ふれあいいきいきサロンやコミュニティカフェ、配食サービス、住民が主体となった支え合い活動など生活支援サービ

スの充実を図ります。なお、木曾広域連合が運営する木曾寮の移転改築事業は、設計業務および用地造成工事に着手します。

地域活動支援センターくわっこ工房では、障がいを持つ皆さんの社会参加の促進と相談・支援体制の充実を図るとともに、地域と一体となった活動を進めます。身体の不自由な人や寝たきりとなった人を対象に福祉有償移送サービスの利用補助を行い、通院・通所など移動に対する支援を図り、自ら交通手段のない高齢者や障がい者には福祉タクシー券を発行し、通院、通所、買い物など利用者の移動手段を確保します。

花と緑に包まれた 美しく安全な村づくり

ここ数年来の地球規模の異常気象は、依然として衰えを見せず猛威を振り続けており、毎年全国各地では大規模な災害が発生しています。当村においても、近年、豪雨による災害が発生し大きな被害を被っています。相次ぐ自然災害の防災・減災対策が重要視される中、利水ダムの事前放流が行われるなど、防災対策が取られてきて

おり、有事に備えるべく国・県との連携をさらに強化します。

国の直轄砂防事業は、猿沢砂防堰堤緊急対策、下洞沢砂防堰堤、浦川第2砂防堰堤、下在砂防堰堤工群（深沢、宮の沢、蛇抜沢、中河原沢）、伊奈川第1砂防堰堤、矢垂沢砂防堰堤、水沢砂防事業、赤ン田砂防事業、太田第1砂防堰堤および樽山沢砂防事業を継続します。県の事業としては大沢砂防堰堤工事を進め、村では国が施工する蛇抜沢砂防堰堤下流の護岸整備を継続するとともに、殿下地区木曾川右岸急傾斜地危険個所の整備費を計上します。さらに、豪雨時の河道閉塞による水害を防ぐため、

河畔林整備事業を継続します。

地域景観整備では、木曾郡内の町村が取り組む木曾広域自立圏形成連携協約に基づき、景観に支障となる河川・国道沿線の雑木の除去について継続するとともに、三色桃による景観整備も継続します。住民の皆さんが参画する地域の景観整備事業など、活力ある美しい村づくりに向けた自主的な活動についても支援してまいりますので、積極的な取り組みをお願いするところでです。

生活環境の整備では、村内のペットボトルなどリサイクル事業のさらなる推進と、ごみの減量化を進めるため資源回収事業奨励金と生ごみ処理機の購入助成を継続します。自然エネルギーの活用では太陽光発電設置補助金の継続、合併処理浄化槽の保守点検への助成金および設置整備に対する補助金を計上しました。

また、野良猫等の繁殖を抑制するため、新たに不妊去勢手術補助金を設けます。

快適で住みやすい 村づくり

村道長野殿線の大桑橋橋梁整備



事業は、県施工による両岸の取り付け道路の整備により、令和3年11月の供用開始を予定しています。また、国道から新庁舎へのアクセス道路に接続する村道大島中央線改良事業と中学校東線改良事業を継続します。橋梁長寿命化修繕計画に基づき小川新橋、森橋、浦川二号線第1号橋、伊奈川三号線水圧鉄管横断橋の橋梁修繕工事と庭の畑橋修繕工事に伴う詳細設計を実施します。

木曽川右岸道路整備事業については、スポーツ公園から和村橋間の工事に着手します。また、殿と弓矢地区の木曽川右岸道路から国道19号までのアクセス道路整備を進め、読書ダムから南木曾町戸場までの用地補償と工事に着手します。国道19号では、伊奈川橋交差点改良事業に着手し、野尻地区交差点改良事業は継続します。

村内の公共交通については、令和2年度に購入したノンステップバスを活用して、木曾病院線および坂下診療所線の運行便数を増便するとともに、村内循環線のダイヤを充実し村内の移動や通院など交通手段の確保と利用者の利便性を向上させます。

地方創生への取り組みを推進し、Iターン・Uターンなど若者の村内定着と移住・定住化を図るため、空き家や村有地の調査および宅地造成可能地の情報収集を継続して進めるとともに、住宅の新築・増改築および空き家対策に伴う補助を拡充し継続します。

また、新たに、都市部から村内へ移住する人に対し移住支援金を交付する移住支援事業に取り組みます。

豊かで活力あふれる村づくり

遊休農地、耕作放棄地など農地の総合管理を図るため、中山間地域の特色ある生産活動を振興し、農産物加工販売組合等の地産地消活動を支援します。

森林造成事業は国・県の制度を十分活用して進めるとともに、景観整備事業では森林環境譲与税を活用し、村道橋場伊奈川線沿線および大島地区の森林整備を継続します。

森林経営管理制度業務は、木曾広域連合と連携し、地区説明会の開催や意向調査の実施、事業で活用する資料作りを行い、森林整備

に向けて順次作業を進めます。さらに、中山地区の里山の活用と整備を進めるための基礎調査に取り組みます。

林道では、野尻与川線二反田川1号橋の改修に着手し、老朽化した橋梁の長寿命化に取り組みます。

被害が減少しない有害鳥獣被害に対応するため、有害鳥獣被害防止対策協議会との連携を継続し、狩猟免許取得者への補助など鳥獣被害対策を強化します。鳥獣被害対策実施隊の有害鳥獣パトロールは、引き続き狩猟期間を除き年間を通じて実施するとともに、捕獲・駆除に努めます。松くい虫被害とともにカシノナガキイムシによるナラ枯れが深刻な問題となつていますが、県の補助を活用しながら、住民生活に影響が予想される箇所を優先して防除対策に取り組みます。

阿寺溪谷の自然環境を保全し後世に残すことを目的として実施している、夏季の車両交通規制については、入込み客の状況と交通渋滞やマナーなど実施状況の評価・検証に基づき、最盛期における混雑に対応するための交通整理員の配置やシャトルバスの対応につい

て、さらに検討し引き続き実施します。木曾ふれあいの郷・あてら荘は設備などが老朽化しています。新たな指定管理者と連携を進めつつ施設を有効活用し、コロナ禍以前の水準まで利用者が復調してくれることを期待するものです。

のぞきど森林公園は、村民の憩いの場として引き続き管理運営します。

令和2年度から初代の隊員が活動を開始した地域おこし協力隊は、3名の継続に加え、のぞきど森林公園の管理運営と観光開発、農業の担い手対策の2業務に携わる隊員を新たに募集し、地域に密着した協力活動の拡大に期待するものです。

人と文化が輝き歴史が息づく村づくり

小・中学校では、少人数の学年が続くとともに、様々な事情を持った支援の必要な児童、生徒が在籍します。引き続き、はつとサポーターや特別支援教育支援員を配置し対応を充実します。人数の減少によりすべての学年で一学級体制となりますが、村費職員を中学校へ3名配置するとともに、外

国語教育を充実するため、令和2年度に来日できなかったALTをシエルビービル市から招き1名増員します。学校給食の主食分については全額補助を継続します。また、放課後子ども教室は長期の休みを含め通年で継続し、放課後の子どもの安全な場所を確保します。

文化財関係では、村道大島中央線改良事業に伴い、大島道脇遺跡の発掘調査を進めます。

生涯学習では、村民の皆さんが地域に愛着を持ち自分らしく、いきいき過ごせる村を目指し、社会教育・生涯学習講座関係の経費を計上しました。

公民館関係では分館運営および営繕交付金を計上し、地域の個性を活かした活動の推進と世代間交流の促進を図るとともに、分館のエアコン設置を順次進めます。

体育施設関係では、木曾川右岸道路の拡幅に伴い支障となるスポーツ公園の石碑の移設のほか、周辺の整備を継続し、利便性の向上を目指すとともに公園管理の充実を図ります。

庁舎完成後に開館を予定している新たな図書館については、専門職員の採用と図書および蔵書シス

テムの購入を計上し、開館に向けた準備に着手します。

連携と協働で築く 自立の村づくり

第5次大桑村総合計画後期基本計画に基づき、村が目指す将来像の実現に向けた村づくりのための施策を更に進めます。

新庁舎の建設は継続事業の2年目であり、年度末のしゅん工を指して確実に事業を進めていきます。また、庁舎の移転に伴う各種設備の移設に関しては建設事業者とも確実に連携を取りながら進め、村民生活に影響が生じないように取り組めます。



村内外の皆さんへの行政サービスの向上を図るため、各種証明書のコンビニ交付システムの運用を継続し、税金などのコンビニ収納やスマートフォンなどを利用した母子手帳の導入を行います。また、将来を見据えた公共施設の個別計画の策定や下水道事業の公営企業会計への移行事業を進めます。

各種交流事業については、新型コロナウイルス感染症の状況にもよりますが、相手方の意向を確認しつつ実施します。

姉妹都市シエルビービル市との国際交流事業では、2年度に実施できなかったシエルビービル市から大桑村へ高校生・大学生3人と随行者2人の受入れを予定しています。交流をとおして今後の村づくりに役立てていきたいと思いません。

また、北名古屋市をはじめとする木曾川上下流、都市と農山村との交流など様々な交流の形態について検討を重ね、更なる交流を目指してまいります。

特別会計

特別会計は総額8億3100万8千円で、前年度比4・9%の減

額となりました。

水道事業会計は、統合簡易水道事業の継続および中学校東線と大桑橋関係、東部地区の配水管布設替工事に係る費用を計上しました。

農業集落排水事業会計および公共下水道事業会計は、通常の施設維持管理経費と施設機能診断経費および村道改良に伴う下水道管の移設経費を計上しました。

国民健康保険事業会計、後期高齢者医療事業会計は通常の給付関係経費を計上しました。

以上が令和3年度予算の概要です。

今後しばらくの間、政治・経済とも厳しい状況が続くと予想されますが、コロナウイルス感染対策の取り組みを最優先にしつつ、村民の皆さんと共に考え、将来にわたって安心して、いきいきと暮らせる村づくりのため、全力で着実な行政運営に努めてまいります。

村民各位のご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます、所信表明といたします。

子育てを応援します!! 子育て世代 包括支援センター

妊娠から出産、子育てに関する悩みなど、
どんなことでもご相談ください!



村では、令和3年4月から子育て世代の総合相談窓口として、大桑村子育て世代包括支援センターを設置します。子育てに関わる一人ひとりが笑顔で過ごせるように、妊娠、出産から子育て期（0歳から概ね18歳）まで、スタッフが連携しながら寄り添ってサポートしていきます。

「どこへ相談すればいいの?」「誰かに話を聞いてほしい」ということも、一人で悩まず、まずは子育て世代包括支援センターへご相談ください。保健師や栄養士、保育士などが相談に応じ、相談者一人ひとりに合わせたサービスや情報提供を行います。妊娠中の人、保護者はもちろん、祖父母など子育てに関わる人ならどなたでも気軽にご利用ください。

大桑村子育て世代包括支援センター

このような悩みはありませんか?

- 妊娠への不安
- 妊娠中や子育て中に受けられる支援や各種事業・サービスなどの相談、情報提供
- 妊娠中や産後の体調などの相談
- 子どもの体や心の発育、発達など子育てについての相談
- 授乳や離乳食など栄養、歯科の相談
- 子どもの健康に関する相談

スタッフ / 保健師、栄養士、保育士など



お問い合わせ先

福祉健康課 保健係（保健センター内）

TEL ** 55-4003 E-mail: cent@vill.ookuwa.nagano.jp

※子育て支援センター「まめっこ」、大桑保育園も相談先として連携していますので、お気軽にご相談ください。

・子育て支援センター TEL ** 55-1215

・大桑保育園 TEL ** 55-3017

指定管理者 決まる

村議会3月定例会であてら荘など6施設の指定管理者が決まりました。

あてら荘を含む木曾ふれあいの郷の指定管理者は(株)塚原緑地研究所から(株)京都屋に変わります。それ以外の施設は変更ありません。指定期間は、阿寺溪谷キャンプ場が令和3年4月から3年間で、その他の施設は5年間です。

固定資産のみなし課税

令和2年の税制改正で、所有者が特定できない固定資産の使用を所有者とみなし、固定資産税を課税することができるようになりました。

現行の制度では災害以外の理由で所有者を特定できない固定資産は、使用者がいても課税することができず、課税の公平性に欠ける状態が生じていました。

この改正では、調査(※)を尽くしても固定資産の所有者が明らかとならない場合は災害以外の理由であっても、使用者を所有者とみなして固定資産課税台帳に登録し、固定資産税を課することができるようになります。その場合は、その旨を事前に使用者へ通知します。

この制度は令和3年度分以後の固定資産税について適用されます。

※「調査」とは、住民基本台帳や戸籍簿等の公簿上の調査、使用者と思われる人や関係者への質問等を行います。

▼問い合わせ先 住民課 税務係 TEL **55・3080



春の狂犬病予防注射と登録

春の狂犬病予防注射と登録手続きを実施しますので最寄りの場所で受けてください。登録済みの犬については、事前に案内ハガキを送付しますので、必ず持参してください。

料金

登録及び注射 6,600円 ①+②+③
 注射のみ 3,600円 ①+②

《内訳》

- ①予防注射料金 3,050円
- ②注射済票交付手数料 550円
- ③登録手数料(新規犬) 3,000円
- ④訪問注射料 1世帯2,000円加算

※訪問注射は5月20日(木)14時45分から行います。希望する人は、5月13日(木)までにご連絡ください。当日は、犬を扱える人が必ず在宅してください。

飼い犬が死亡したとき、飼い主の転出等により飼い犬も転居するときなどは、異動の届出を必ず行ってください。

4月22日(木)

時間	場所
9:30 ~ 9:40	伊奈川分館
9:50 ~ 10:00	下条バス停
10:10 ~ 10:20	上郷リサイクルステーション
10:30 ~ 10:40	和村(高田宅)下
10:50 ~ 11:00	須原地区館
11:10 ~ 11:20	橋場分館
11:25 ~ 11:35	大島分館
11:45 ~ 11:55	殿分館
13:00 ~ 13:20	役場
13:30 ~ 13:40	野尻向分館
13:45 ~ 13:55	サンシャインあてら下駐車場
14:05 ~ 14:15	下在郷分館
14:25 ~ 14:40	野尻駅

5月20日(木)

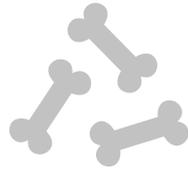
時間	場所
13:30 ~ 13:40	須原地区館
13:50 ~ 14:05	役場
14:15 ~ 14:30	野尻駅

▶ 問い合わせ先 住民課 生活環境係 TEL **55 - 3080



骨太生活

骨は、体や日常の活動を支える大切な器官です。骨が脆くなると、わずかな衝撃でも骨折してしまふことがあります。



今回は、骨を強くするための生活習慣についてお伝えします。

骨の役割と構造

骨には体を支える役割があり、立つ・歩く・走る等の動作に耐えられるよう丈夫でなければなりません。私達の体は、約206本もの骨がありますが、合計の重さは全体重の20%程度です。骨の断面図を見ると、圧がかかりやすい骨の表面は密度が高く、固い組織で作られています。内部は網目状

になっており、骨の中心部に近づくほど網目の大きさが増し、中心部分は空洞になります。網目状の構造には、スポンジのように受けた衝撃を吸収する役割があります。また、網目により隙間が生まれることで、骨は軽くなります。性質の異なる組織が組み合わさることで、骨は丈夫でありながら、軽さとしなやかさを持ちます。

骨は生まれ変わる

骨の成長は成人までに終わりませんが、成長が終わった後も髪や皮膚と同様に新陳代謝を繰り返します。骨には古くなった骨を壊す細胞と、新しい骨を作る細胞があり、2つの異なる働きを持つ細胞によって、古い骨を新しい骨に入れ替え骨の強度を一定に保っています。

骨が衰える原因

骨の丈夫さは骨密度と呼ばれる指標で示され、骨密度が高いほど骨は丈夫と言えます。一般的に骨密度は20代でピークを迎え、しばらくは横ばいが続きます。女性の場合、閉経により骨密度が大きく変化します。

女性ホルモンには骨を壊す細胞の働きを抑える役割があり、閉経により女性ホルモンの分泌が低下

すると、骨を壊す細胞の働きが骨を作る細胞の働きを上回り骨密度が低下します。この他には、加齢による食事量の減少や腸からの栄養素の吸収低下、運動不足によっても骨密度の低下がおこります。骨密度が低下し、骨が脆くなると、少しの衝撃でも骨折しやすくなります。この状態を骨粗しょう症と言います。

丈夫な骨をつくる生活習慣

骨粗しょう症の高齢者は、骨折により要介護状態になる恐れがあります。低下した骨密度を増やすことは難しいですが、生活習慣に気をつけることで骨密度の低下を緩やかにできます。自身の足で歩き続けるためにも、次のポイントを意識しましょう。

食事

丈夫な骨づくりに欠かせない3つの栄養素はカルシウムとビタミンDとKです。これらの栄養素を食事に取り入れることを意識すると共に、様々な栄養素をバランスよくとることを心掛けましょう。3つの栄養素は次の食材に多く含まれます。

- ① カルシウム (骨の材料になる)
… 乳製品・大豆製品等
- ② ビタミンD (カルシウムを体内

に効率的に吸収させる)
… 魚・きのこ類等

- ③ ビタミンK (骨にカルシウムが吸収されるのを助ける)
… 緑黄色野菜、納豆、わかめ等
※ 服薬している人は主治医の指示に従い、バランスよく摂取しましょう。

運動・日光浴

骨は運動による適度な衝撃を受けることで強くなります。また、骨をつくるために必要なビタミンDは、日光を浴びることにより体内で合成されます。ウォーキングは日光を浴びながら骨に適度な負荷をかけることができ、骨粗しょう症対策に適した運動と言えます。骨粗しょう症等の治療中の人は、運動をする前に主治医に相談しましょう。

年に1度は骨密度検査を

8月に行う村の健診では骨密度検査が受けられます。50歳前後の人、特に閉経後の女性は年に1度骨密度検査を受け、骨の状態を知ることがおすすめです。なお、来年度から骨密度検査を受けるには事前の予約が必要となりました。詳細は保健センターへ問い合わせください。

不法投棄 監視連絡員募集

問 住民課生活環境係
TEL *55・3080

村では不法投棄監視連絡員を募集します。

募集人員

若干名（報酬あり）

応募資格

普通運転免許証を持っている人で次の事項に該当しない人

- ・成年被後見人もしくは被保佐人または破産の宣告を受けた人
- ・禁錮以上の刑に処せられた人

活動場所

大桑村内

活動日時

土日祝日の午前または午後4時間程度

業務内容

村内の定期的なパトロールを月2回

訓練生募集

問 長野県上松技術専門校
TEL 52・3330

申 ハローワーク木曾福島
TEL 22・2233

上松技術専門校では、ハローワークに登録している求職者を対象とした公共職業訓練「就職パソコン基礎科」の受講生を募集しています。実務に役立つパソコンの知識・技能を基礎から習得し、就職を目指す講座です。現在のスキルは問いません。

訓練期間
5月7日(金)～8月6日(金)

訓練会場
上松町公民館

受講料
無料

募集期限
4月13日(火)

入校選考
4月20日(火)

※教科書代等は自己負担

海上保安官 募集

問 海上保安庁 第九管区
海上保安本部 総務部
TEL 0120・444・576

海上保安学校学生および海上保安官を募集します。令和2年度から受験資格を拡大しました。

★海上保安学校学生 (高卒程度)

受験資格
高卒後13年未満の人
または卒業見込みの人

試験日程
○1次試験
5月16日(日)

○2次試験
6月9日(水)～
6月30日(水)のうち1日

受験申込期間
3月26日(金)～4月2日(金)

★海上保安官 (大卒程度)
受験資格
平成3年4月2日以降生まれの大卒の人または卒業見込みの人

試験日程
○1次試験
6月6日(日)

○2次試験

7月13日(火)～
7月20日(火)のうち1日

受験申込期間
3月26日(金)～4月7日(水)

不動産鑑定 無料相談会

問 長野県不動産鑑定士協会
TEL 026・225・5228

不動産評価等に関する無料相談会を開催します。予約は不要です。

日時・会場
開催時間はいずれの会場も午前10時から午後4時です。

○4月2日(金)
・伊那市役所 3階

○4月6日(火)
・松本市役所本庁舎 4階
・飯田市役所 3階

相談内容
・売買、交換、相続等に係る不動産評価について

その他
・来場の際はマスクの着用などの新型コロナウイルス感染症対策に協力をお願いします。

県税はスマホで

問 長野県総務部税務課
TEL 026・235・7046

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県税の納税等はスマートフォンやeLTAXを利用してください。

スマホ納税はスマホアプリ「PayPay」[LINE Pay]で支払いが可能です。自宅で税金を納めることができ、インターネットバンキングや、ペイジー(Pay-easy)も利用できます。納税証明書の請求等は、可能な限り郵送で行ってください。また、法人関係の申告・納付はeLTAX(地方税ポータルシステム)、ダイレクト納付を活用してください。

4月の行事予定

1 木	らくらく筋トレ教室 (野尻地区館)
2 金	
3 土	
4 日	
5 月	保育園入園式 9:30~
6 火	小学校入学式 10:00~ 中学校入学式 13:15~ 健康教室 (野尻地区館)
7 水	
8 木	らくらく筋トレ教室 (野尻地区館)
9 金	
10 土	
11 日	
12 月	
13 火	健康教室 (野尻地区館)
14 水	GSの日 10:00~ (伊奈川分館)
15 木	らくらく筋トレ教室 (野尻地区館)
16 金	
17 土	
18 日	
19 月	
20 火	もの忘れ相談 9:00~ (須原地区館) なんでも相談 12:00~ (須原地区館) 健康教室 (野尻地区館)
21 水	
22 木	春の狂犬病予防注射 らくらく筋トレ教室 (野尻地区館)
23 金	
24 土	のぞきど森林公園春期開園
25 日	参議院長野県選出議員補欠選挙
26 月	
27 火	健康教室 (野尻地区館)
28 水	
29 木	
30 金	

※新型コロナウイルスの状況により中止になる可能性があります。

4月まなびましょう

マスコット：マナビデザイン：石ノ森章太郎
生涯学習に関する問い合わせ 大桑村公民館 TEL ** 55-1020

教室	会場	時間	開催日
英会話	①	14:00	7、14、21、28
英会話	②	19:30	7、14、21、28
手話	①	19:00	1
日本語教室	⑦	10:00	24
押し花教室	②	10:00	21
パッチワーク	①	9:30	14、28
レザークラフト	①	9:00	6、20
陶芸教室	④	10:00	23、24
コール・マルベリー	②	19:30	1、8、15、22、29
ヒノキ三味線	①	19:00	休み
詩吟岳岳会大桑教室	⑥	13:00	6、13、20、27
大正琴糸瀬会	③	12:30	13、27
リフレッシュヨーガ	①	19:00	14、21、28
ヨガ	②	14:00	10、24
あゆみ整体教室	①	19:00	12、26
フラ教室〈昼〉	③	13:30	5、12、19
フラ教室〈夜〉	③	19:30	8、13、20
大桑ダンシングフレンズ	⑤	14:00	3、17
日本舞踊はなやぎ会	⑤	14:00	10、24
池坊いけばな教室	③	13:00	13、27
笑いヨガ	②	13:30	22

会場 ①中央公民館、②野尻地区館、③須原地区館、④殿分館、⑤村民体育館、⑥橋場分館、⑦その他

※各教室とも随時参加者を募集しています

2月のできごと



2月2日 保育園節分



2月10日 ゴールデンシュューの日ミニ交流会

2月16日 まめっこベビーマッサージ



2月26日 中学校竹イルミネーション点灯式

村の人口

1,544世帯 (前月比-5世帯)	男(人)	女(人)	計(人)
出生	0	1	1
死亡	3	3	6
転入	2	0	2
転出	4	3	7
総人口 (前月比)	1,729 (-5)	1,827 (-5)	3,556 (-10)

(3月1日現在・住民基本台帳登録人数)

4月の緊急当番医

日	緊急医名	電話番号
4日(日)	芦沢医院(上松町)	52-2018
11日(日)	古根医院(大桑村)	55-1188
18日(日)	田沢医院(木曾町開田)	44-2008
25日(日)	大脇医院(上松町)	52-2023
29日(木)	木曾ひよし診療所(木曾町日義)	26-2001

木曾病院(木曾町福島) TEL 0264-22-2703
 坂下診療所(中津川市坂下) TEL 0573-75-3118
 中津川市民病院(中津川市) TEL 0573-66-1251

表紙によせて

大桑保育園のひなまつり会で、からすみ“作りが行われました。園児が家から持ち寄ったシソやヨモギを混ぜて白、赤、緑のからすみを作りました。
 上新粉をこねる作業では、良い匂いが漂うと「おいしそう」と笑顔になっていました。また、からすみが馴染みのある形に整えられる工程を興味深そうに見る姿が見られました。
 出来上がったからすみは園内に飾られている雛人形にお供えされました。

